第２回今金町文化財保存活用地域計画策定委員会

期日　令和３年10月22日（金）14:30～
会場　今金町民センター ２階大会議室

１．開　　会　　策定委員会委員長　　長沼　　孝
今金町教育委員会教育長　　中山　秀悦

２．協議事項
（１）把握調査の報告について　資料１

（２）計画素案について　資料２

（３）今後の予定について　資料３

（４）その他

３．閉　　会

今金町文化財保存活用地域計画策定委員会委員名簿

種　別	氏　名	分　野	出欠	勤務先・役職等
有識者	長沼　　孝	考古学	○	北海道埋蔵文化財センター理事長
	紀藤　典夫	自　然		北海道教育大学函館校国際地域学科教授
	能條　　歩	地　質		北海道教育大学岩見沢校教授
	山田　大隆	産業遺産	○	北海道産業遺産学会会長
	宮塚　義人	考古学	○	宮塚文化財研究所所長
	千葉　里美	観　光		札幌国際大学観光学部教授
	小林　孝二	建　築	○	NPO 法人歴史的地域資産研究機構技術専門員
地域団体	小田島輝志	地域団体	○	今金町文化財保護委員会委員長 ピリカ遺跡ボランティアの会会長
	勝山　英敏	地域団体		今金町町内会自治会連合会理事
	仁木　　明	産業団体		今金町農業協同組合専務理事
	多田　佳正	観光団体	○	今金町観光協会会長
	酒井　豊志	学校教育	○	今金町校長会会長
オブザーバー	岡本　公秀	文化庁		文化庁調査官
	鶴田　純子	北海道		北海道教育庁文化財・博物館課主査

今金町	外崎　秀人	今金町長	
	中山　秀悦	今金町教育委員会教育長	○
事務局	住吉　　淳	今金町教育委員会事務局長	○
	早坂　　靖	今金町教育委員会事務局次長	
	宮本　雅通	今金町教育委員会事務局主幹・学芸員	○
	樋口　喬士	今金町教育委員会事務局社会教育主事	
連携課 (観光部局)	山田　　薫	今金町役場まちづくり推進課長	
	寺崎　康史	今金町役場まちづくり推進課参事 （今金町歴史をたどる会会長）	○
	榊原　愛歌	今金町役場まちづくり推進課地域おこし協力隊	○

資料1　把握調査の報告について

把握調査の目的

本町の歴史や文化を知る上で欠くことのできない特徴的な文化財を把握するため、住民からの聞き取り・情報収集をはじめ、各専門家による現地調査を実施し、新たな資料の掘り起こしを行うとともに、各専門家によりそれらの評価・価値づけをしていただき、今後の望ましい文化財保存活用方策についての検討材料とする。

これまでの進捗状況

	4月	5月	6月	7月	8月
策定委員会（年間5回）		13日 第1回	29日 地域委員会	（分散会）	（分散会）
主な内容	委嘱依頼	諮問 概要説明	歴史的建造物 の事前調査	3委員来町	3委員来町
把握調査	23-24日　重要遺跡①	住民アンケート （いまかね遺産） 6-7日 産業遺産①	住民アンケート （いまかね遺産）	1-3日 建造物① 12-13日 産業遺産② 28-30日 重要遺跡②	18-19日 重要遺跡③
主な成果	新規遺跡（アイヌ文化期か）の確認	産業遺産（マンガン鉱山跡・メノウ採石場等）の評価	住民アンケート集約 個別に確認調査	歴史的建造物の評価 マンガン鉱山の評価 新規遺跡（アイヌ文化期か）の確認	史跡ピリカ遺跡および砂金採掘跡の整備方針について審議



▲重要遺跡分布調査（４月）



▲第1回委員会（５月）



▲地域委員会（６月）



▲建造物調査（７月）

これまでの進捗状況および予定

	9月	10月	11月	12月
策定委員会（年間5回）		22-23日 第2回		10日？ 第3回 11日 推進フォーラム
主な内容		進捗状況報告 素案審議・現地見学		原案審議 町民対象の説明会
把握調査	（悉皆調査）	24-25日 建造物② 30-31日 岩石・化石・鉄道 （いまかねお宝鑑定会）	2日 町づくり推進調整会議 （悉皆調査の周知） 3日 重要遺跡④ （カニカン岳金山跡）	11日 パブリックコメント
主な成果	農業用水路古写真収集 瀬棚線関連資料の収集	岩石標本作り教室の開催 瀬棚線関連資料の収集	26年ぶりの金山調査 山梨県の専門家来町	



▲悉皆調査（５月）



▲建造物調査（7月）



▲悉皆調査（10月）



▲悉皆調査（11月）

悉皆調査（住民アンケート「いまかね遺産ありませんか」）集約結果

No.	名称・内容	文化財類型
1	旧国鉄瀬棚線「田植え列車」の運行 昭和 37、38 年頃から町内で造田が盛んになる一方、田植え労務者不足が深刻化した。当初は農協や役場職員、自衛隊にも応援依頼したが、それでも補い切れないため、おそらく昭和 42～46 年の間、瀬棚線に全国で初の「田植え列車」が運行されていた。このことは今金町の歴史を知る上でも大変貴重と思われる。	
2	青木の高台、光大橋からの市街地遠景 市街地付近にある高台から市街地を眺めると、背後に狩場山地や遊楽部岳があり、そのすそ野に広がる盆地状の利別平野を一望することができる。 河岸段丘のようすから、、長い年月をかけてできた地形のなりたちに思いをはせることができる。また、明治期まではこの一体化は原生林であったが、現在は道南一の農地として発展しており、開拓者の功績もよく伝わってくる。	文化的景観
3	山崎喜三郎氏開拓回想録（録音記録） 明治 19 年生まれ。開拓移民の山崎六郎衛門の息子で、明治 26 年 5 月に渡道し、その後地域の開拓に尽力された。本音声記録は昭和 37 年、氏が 76 歳の時に開拓時の苦労話を録音したテープで、肉声による大変貴重な記録と思われる。故人。『今金地域研究』第 3 号（1997 年）に活字化されている。	
4	今金町農協倉庫群 町の特産品「今金男しゃく」を一元的に管理し選別する倉庫で、今金町の基幹産業を支える施設である。市街地に入ると真正面に見え、町を象徴する建造物であり、またその規模や建築構造にも歴史的な特徴がみられるのではないか。	有形文化財 建造物
5	オンコ（イチイ）の大木 住吉・美利河間の林道途中にあるオンコの大木。国有林内。	天然記念物
6	バン坂隧道 伊藤正行氏の祖父・伊藤伊三郎氏が昭和 2・3 年に 2 年がかりで美利河のマンガン鉱山の工夫に依頼し、手掘りで貫通させた農業用隧道。現在の住吉頭首工ができるまで利用していた。延長約 160m。水田造成のための用水路で、それまでは白米を食べられなかった。	（産業遺産）
7	初代住吉頭首工水門 住吉にある灌漑構水門は、利別平野の田畑を潤す長大な灌漑用水路を象徴する遺構で、ハンドルも残り、トンネルの出口も見ることができる。	（産業遺産）

8	今金狩場太鼓 今金町の郷土芸能。昭和 47 年、今金町商工会青年部の中で、今金町に郷土芸能をつくろうとの機運が盛り上がり、有志で結成。狩場太鼓は、地域に残る和太鼓のリズムをもとに地元部員が創作したもので、道南一の秀峰・狩場山の四季の移り変わりと、清流・後志利別川の変化に富んだ流れを太鼓の音色に託した力強い迫力を特徴とする。全道、全国公演はもとより、1997 年には海外（スペイン）公演が実現し、大喝采を浴びた。2018 年度檜山管内教育実践表彰受賞。	民俗文化財 無形
9	今金八幡宮例大祭・太鼓合戦 今金八幡宮例大祭の山車行列は大正 7 年（1918）、瀬棚のにぎやかな様子をみた地元の有志が発案したのがはじまり。町内商店や大工の協力を得、子どもたちも大勢参加する大盛況となり、以来若干の形を変え、現在まで続いている。大迫力の太鼓合戦が名物で、毎年多くの観光客が訪れる。	民俗文化財 無形
10	今金音頭 昭和 35 年（1960）年 4 月 17 日、今金町開基 70 周年記念事業の一環で製作された。作詞・作曲は安部芳明（今金町出身）、レコード制作はキングレコード株式会社。振り付けは安部峯枝舞踊師匠による。以来、今金町の盆踊りとして長く親しまれている。	民俗文化財 無形
11	今金甚句 昭和 52 年（1977）7 月 14 日、今金町開基 80 周年、町政施行 30 周年記念事業で製作された。作詞・作曲は田原賢声。レコード制作は日本コロンビア株式会社。町内の民謡愛好者の間で長く親しまれている。	民俗文化財 無形
12	今金しぐれ 昭和 52 年（1977）7 月 14 日、今金町開基 80 周年、町政施行 30 周年記念事業で製作された。作詞・作曲は田原賢声。レコード制作は日本コロンビア株式会社。町内の民謡愛好者の間で長く親しまれている。	民俗文化財 無形
13	ペチカ（ロシア式暖房設備） 自宅に昭和 10 年代に設置して以降、継続して使用中。民家のペチカはすでに歴史上の暖房具とされていたが、現役で使用されていることは大変貴重。	民俗文化財 有形
14	渡船場の大ポプラ 現在の利別大橋付近は、かつて利別川の渡船場があったところで、その河畔にそびえたつポプラの巨木。渡船場は現存しないが、ポプラがその目印となっていた。ポプラであるかどうかは不明で、樹木専門家の鑑定が必要。	天然記念物

資料３

今金町文化財保存活用地域計画作成事業
今後の主な予定

月　　日	主な内容	備考
10 月　22 日	第 2 回策定委員会（会議）	委員 7 名出席
23 日	第 2 回策定委員会（見学）	委員 7 名出席
24-25 日	把握調査（歴史的建造物）	小林委員
30 日	把握調査（地質・岩石） *岩石標本作り教室	能條委員
31 日	把握調査（鉄道、化石等） *いまかねお宝鑑定会	能條委員、寺崎参事、小田島委員
11 月　3 日	把握調査（重要遺跡 カニカン岳）	猟友会護衛
12 月　10 日?	第 3 回策定委員会	オンライン併用
11 日 午後	今金町文化財保存活用地域計画 推進フォーラム（別紙参照）	文化庁派遣アドバイザー、長沼委員長、山田委員
2 月　上旬	第 4 回策定委員会（会議）	オンライン併用
3 月	計画案完成、文化庁提出	



